

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成21年11月26日(2009.11.26)

【公開番号】特開2008-115094(P2008-115094A)

【公開日】平成20年5月22日(2008.5.22)

【年通号数】公開・登録公報2008-020

【出願番号】特願2006-298382(P2006-298382)

【国際特許分類】

A 6 1 K	8/39	(2006.01)
A 6 1 K	8/36	(2006.01)
A 6 1 Q	19/10	(2006.01)
A 6 1 K	8/365	(2006.01)
A 6 1 K	8/02	(2006.01)
A 6 1 Q	1/14	(2006.01)
C 1 1 D	1/04	(2006.01)
C 1 1 D	1/06	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	8/39
A 6 1 K	8/36
A 6 1 Q	19/10
A 6 1 K	8/365
A 6 1 K	8/02
A 6 1 Q	1/14
C 1 1 D	1/04
C 1 1 D	1/06

【手続補正書】

【提出日】平成21年10月14日(2009.10.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

(2) 本発明の化粧料の必須成分であるポリオキシエチレンアルキル(アルケニル)エーテル酢酸

本発明の化粧料は、洗浄用の化粧料であって、一般式(1)に表される、ポリオキシエチレンアルキル(アルケニル)エーテル酢酸及び/又は塩を0.1~10質量%含有することを特徴とする。一般式(1)において、Rはアルキル基を示し、前記アルキル基の炭素数は8~20、より好ましくは10~18であり、該アルキル(アルケニル)基は、分岐構造を有していても良いし、環状構造を有していても良い。具体的には、オクチル基、イソオクチル基、2-シクロヘキシリルエチル基、デシル基、ドデシル基、トリデシル基、テトラデシル基、ヘキサデシル基、オクタデシル基、イソステアリル基などが好適に例示できる。特に好ましいものは、トリデシル基である。又、nは平均付加モル数を表し、nは1~30の整数、より好ましくは2~20の整数が好ましい。かかる化合物は、アルコールにエチレンオキシドを付加させて、しかる後、遊離の水酸基に水素化ナトリウムなどを反応させてアルコラートに誘導し、臭化酢酸エチルと反応せしめ、しかる後に水酸化ナトリウム水溶液などのアルカリ水溶液で加水分解することにより、製造することが出来る。前記ポリオキシエチレンアルキル(アルケニル)エーテル酢酸における、好ましいオキ

シエチレンの好ましい付加モル数は1～10であり、より好ましくは2～7である。この様なポリオキシエチレンアルキル（アルケニル）エーテル酢酸及び／又はその塩には、既に市販されているものが存し、かかる市販品を購入し利用することも出来る。好ましい市販品としては、ポリオキシエチレンアルキルエーテル酢酸ナトリウム塩である、「ニッコールE C T D - 3 N E X（ポリオキシエチレンの平均付加モル数3）」（日本サーファクタント株式会社製）や「サンドパンD T C」（クラリアントジャパン株式会社製）等が好適に例示できる。かかる成分は、前記脂肪酸石鹼とともに働いて、肌理が細かく、こしの強い泡を発生せしめると同時に、この泡の脂溶性成分を包含する作用を向上せしめる作用を有する。この様な作用により、ポンプフォーマー形態で使用した場合、体積が大きく、且つ、1泡沫の大きさが細かい泡を発生せしめ、効率よく、油性汚れと、水性汚れとを包含し、水洗により容易に皮膚より離脱せしめる。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

本発明の化粧料においては、かかる成分以外に、通常洗浄用の化粧料で使用される任意成分を含有することが出来る。この様な任意成分としては、例えば、マカデミアナッツ油、アボガド油、トウモロコシ油、オリーブ油、ナタネ油、ゴマ油、ヒマシ油、サフラワー油、綿実油、ホホバ油、ヤシ油、パーム油、液状ラノリン、硬化ヤシ油、硬化油、モクロウ、硬化ヒマシ油、ミツロウ、キャンデリラロウ、カルナウバロウ、イボタロウ、ラノリン、還元ラノリン、硬質ラノリン、ホホバロウ等のオイル、ワックス類；流動パラフィン、スクワラン、プリスタン、オゾケライト、パラフィン、セレシン、ワセリン、マイクロクリスタリンワックス等の炭化水素類；セチルアルコール、ステアリルアルコール、イソステアリルアルコール、ベヘニルアルコール、オクチルドデカノール、ミリスチルアルコール、セトステアリルアルコール等の高級アルコール等；イソオクタン酸セチル、ミリスチン酸イソプロピル、イソステアリン酸ヘキシルデシル、アジピン酸ジイソプロピル、セバチン酸ジ-2-エチルヘキシル、乳酸セチル、リンゴ酸ジイソステアリル、ジ-2-エチルヘキサン酸エチレングリコール、ジカブリン酸ネオペンチルグリコール、ジ-2-ヘプチルウンデカン酸グリセリン、トリ-2-エチルヘキサン酸グリセリン、トリ-2-エチルヘキサン酸トリメチロールプロパン、トリイソステアリン酸トリメチロールプロパン、テトラ-2-エチルヘキサン酸ペンタンエリトリット等の合成エステル油類；ジメチルポリシロキサン、メチルフェニルポリシロキサン、ジフェニルポリシロキサン等の鎖状ポリシロキサン；オクタメチルシクロテトラシロキサン、デカメチルシクロペンタシロキサン、ドデカメチルシクロヘキサンシロキサン等の環状ポリシロキサン；アミノ変性ポリシロキサン、ポリエーテル変性ポリシロキサン、アルキル変性ポリシロキサン、フッ素変性ポリシロキサン等の変性ポリシロキサン等のシリコーン油等の油剤類；脂肪酸セッケン（ラウリン酸ナトリウム、パルミチン酸ナトリウム等）、ラウリル硫酸カリウム、アルキル硫酸トリエタノールアミンエーテル等のアニオン界面活性剤類；塩化ステアリルトリメチルアンモニウム、塩化ベンザルコニウム、ラウリルアミンオキサイド等のカチオン界面活性剤類；イミダゾリン系両性界面活性剤（2-ココイル-2-イミダゾリニウムヒドロキサイド-1-カルボキシエチロキシ2ナトリウム塩等）、N-アシルグリシン及び／又はその塩やN-アシルグルタミン酸及び／又はその塩等のアミノ酸系界面活性剤、ベタイン系界面活性剤（アルキルベタイン、アミドベタイン、スルホベタイン等）、アシルメチルタウリン等の両性界面活性剤類；ソルビタン脂肪酸エステル類（ソルビタンモノステアレート、セスキオレイン酸ソルビタン等）、グリセリン脂肪酸類（モノステアリン酸グリセリン等）、プロピレングリコール脂肪酸エステル類（モノステアリン酸プロピレングリコール等）、硬化ヒマシ油誘導体、グリセリンアルキルエーテル、POEソルビタン脂肪酸エステル類（POEソルビタンモノオレエート、モノステアリン酸ポリオキエチレンソル

ビタン等)、POEソルビット脂肪酸エステル類(POE-ソルビットモノラウレート等)、POEグリセリン脂肪酸エステル類(POE-グリセリンモノイソステアレート等)、POE脂肪酸エステル類(ポリエチレングリコールモノオレート、POEジステアレート等)、POEアルキルエーテル類(POE2-オクチルドデシルエーテル等)、POEアルキルフェニルエーテル類(POEノニルフェニルエーテル等)、フルロニック型類、POE・POPアルキルエーテル類(POE・POP2-デシルテトラデシルエーテル等)、テトロニック類、POEヒマシ油・硬化ヒマシ油誘導体(POEヒマシ油、POE硬化ヒマシ油等)、ショ糖脂肪酸エステル、アルキルグルコシド等の非イオン界面活性剤類；ポリエチレングリコール、グリセリン、1,3-ブチレングリコール、エリスリトール、ソルビトール、キシリトール、マルチトール、プロピレングリコール、ジプロピレングリコール、ジグリセリン、イソブレンギリコール、1,2-ペンタンジオール、2,4-ヘキサンジオール、1,2-ヘキサンジオール、1,2-オクタンジオール等の多価アルコール類；ピロリドンカルボン酸ナトリウム、乳酸、乳酸ナトリウム等の保湿成分類；表面を処理されていても良い、マイカ、タルク、カオリン、合成雲母、炭酸カルシウム、炭酸マグネシウム、無水ケイ酸(シリカ)、酸化アルミニウム、硫酸バリウム等の粉体類；表面を処理されていても良い、ベンガラ、黄酸化鉄、黒酸化鉄、酸化コバルト、群青、紺青、酸化チタン、酸化亜鉛の無機顔料類；表面を処理されていても良い、雲母チタン、魚鱗箔、オキシ塩化ビスマス等のパール剤類；レーキ化されていても良い赤色202号、赤色228号、赤色226号、黄色4号、青色404号、黄色5号、赤色505号、赤色230号、赤色223号、橙色201号、赤色213号、黄色204号、黄色203号、青色1号、緑色201号、紫色201号、赤色204号等の有機色素類；ポリエチレン末、ポリメタクリル酸メチル、ナイロン粉末、オルガノポリシロキサンエラストマー等の有機粉体類；パラアミノ安息香酸系紫外線吸収剤；アントラニル酸系紫外線吸収剤；サリチル酸系紫外線吸収剤；桂皮酸系紫外線吸収剤；ベンゾフェノン系紫外線吸収剤；糖系紫外線吸収剤；2-(2'-ヒドロキシ-5'-t-オクチルフェニル)ベンゾトリアゾール、4-メトキシ-4'-t-ブチルジベンゾイルメタン等の紫外線吸収剤類；エタノール、イソプロパノール等の低級アルコール類；ビタミンA又はその誘導体、ビタミンB₆塩酸塩、ビタミンB₆トリパルミテート、ビタミンB₆ジオクタノエート、ビタミンB₂又はその誘導体、ビタミンB₁₂、ビタミンB₁₅又はその誘導体等のビタミンB類；-トコフェロール、-トコフェロール、-トコフェロール、ビタミンEアセテート等のビタミンE類、ビタミンD類、ビタミンH、パントテン酸、パンテチン、ピロロキノリンキノンなどが好適に例示できる。本発明の化粧料は、これらの成分、前記の必須成分を常法に従って処理することにより製造することが出来る。